

はじめに

あけましておめでとうございます！ 今回、初めてのフランスでの年越しを体験しました。それも含め、12月のフランスの様子を紹介していきます。

フランスの電車事情

SNCF（フランス国鉄）とRATP（パリ交通公団）による大規模な無期限のストライキがフランス全土にわたって行われています。丁度冬休みの期間と丸被りしてしまい、休みの間に計画していた旅行は全部キャンセルになってしまいました。バスで行こうにもパリでは過激なデモが行われており、行けるような雰囲気ではありませんでした。日本でもニュースになっているほどで、家族や知人からいくつか連絡をもらいましたが、ストラスブールはいつもと変わらず平和な日々が続いています。今回のストライキの現況は、国が変えた年金制度が原因なのですが、フランスではその他の理由でも

電車がキャンセルされる場合が多々あります。もし、キャンセルされたのが行きのチケットだった場合、キャンセルされた行きのチケットは全額返金されますが、帰りのチケットはキャンセルしても元の料金と同じ金額を払わなければなりません。もし皆さんがフランスに訪れる際は、このことを頭に入れておくと、いざという時に少しは臨機応変に対応できるかと思います。



アルザスの家

わたしの住んでいる町にあるアルザスの昔の家を再現した家があり、クリスマスの時期にその家を見学できるとのことで見学をしに行きました。中では、子供たちがクリスマスの飾りを作っていたり、街の役員の方がクッキーを焼いたりしていました。



クリスマス

日本でクリスマスと言えば、恋人や友達と過ごす方が多いと思います。しかしフランスでは、家族や親せきと過ごすのが一般的です。私のホームステイ先でも親せきや近しい友人などが集まってホームパーティーが行われました。私の幼い頃のクリスマスの思い出は、やはり25日の朝に起きて枕元を見るとサンタさんからプレゼントが置かれていたことが一番印象深く、それこそがクリスマスの醍醐味だと思っていたのでフランスの子供がどの様に過ごすのかとても気になっていました。24日の夜は、家族や友人などが集まって美味しい料理を食べ、次の日は親せきだけのお祝いをしました。25日の朝になるとクリスマスツリーの下はプレゼントでいっぱいになります。私もホストファミリーに用意したプレゼントを置きました。この家にはサンタの風習は無く、代わりに親せきの方から沢山のプレゼント



をもらっていました。子供の気持ちを考えると少し現実的で物寂しい気もしますが、それよりも家族との思い出を大事にするフランスのクリスマスはそれ以上に幸せな空気で溢れているように感じました。まるで洋画に出てくる様なクリスマスでとてもわくわくしました。

Noël の語源

Noël という言葉の語源は、ラテン語の natalis という言葉を元に変化してできた言葉とされています。natalis とは、誕生や、生まれることを意味する言葉で、イエスの誕生を意味しています。



フランスの年越し

2019年も終わり、新しい年になりました。日本とフランスでは今8時間の時差があるため、家族や日本にいる知人との年明けのあいさつをした時、フランスはまだお昼の三時でした。1月1日になる瞬間、私は車でホストファザーとストラスブールへ移動している最中でした。年が明ける瞬間は車内になってしまいましたが、ストラスブールに着く道中で四方八方から花火が上がるところを見ることができました。フランスにはお正月の様な文化は無く、ホームパーティーをして騒ぐ人や、若者たちは外に出て花火や爆竹に火をつけるなど、のんびり過ごす日本の風習とは真逆の派手なお祝いの仕方が一般的なようです。日本では花火師の免許がないと打ち上げられない様な大きさの花火も一般の方が買って、自身で

打ち上げることができるそうです。しかし事故なども毎年多数起こるようで、特に私が驚いたのは車を燃やす人がたくさんいるという事です。フランスでは年越しに車を燃やすというのが風習化しており、そのために毎年たくさんの方が逮捕されます。日本の文化との違いに驚きつつも、自分が今



いる環境の新鮮さに楽しさも感じました。

まとめ

フランスでの生活も半分が過ぎました。年の終わりと折り返し地点になり今までの生活を振り返りました。学習状況はもちろんですが、フランスでの文化や生活の流れに触れることでどこからどこまでが文化の違いで、個性の違いなのか具体的に理解できるようになったように思えます。ある日、スーパーのレジで並んでいたら店員さんに後ろに並んでいたご老人の方と順番が変わるように言われました。店員さんの顔が少し怖かったので、自分が何かマナー違反をしたのかと思い、その場に居た人達に謝りました。ですが、私の近くに並んでいた女性の方が、私が悪いことをしたのではな

く、フランスではお年寄りや妊婦さんなどには順番を譲る文化があるという事を教えてくださいました。その場の常識や文化を知らずに失敗してしまう事は、留学する者として当たり前になりうるものだと思います。その時に失敗したと思うだけではなく、周りの優しさや自分の行動が相手にどの様な人間に見せているのかを知る経験ができるのもまた、留学する事の利点だと感じました。当たり前のことですが本当にいろんな方がいるのだと感じます。今後も貴重なこの体験を大切にしながら生活を続けたいです。